

令和 8 年 5 月 2 8 日

青森県りんご果樹課

りんご苗木安定供給体制検討会議について

- 1 日時：令和 8 年 5 月 1 8 日（月） 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0
- 2 場所：（地独）青森県産業技術センターりんご研究所
- 3 参集：県内苗木業者、J A 全農あおもり、（公財）青森県りんご協会、（公財）青果物価格安定基金協会、りんご研究所、関係市、関係農協、県

4 検討内容

2 年連続の雪害からの復旧に向け、改植・補植用のりんご苗木の確保の方法や、災害に備えた苗木の安定供給体制の構築について検討した。

（1）りんご苗木の確保について

ア 昨冬の雪害復旧に向けた苗木増産

- ・生産者アンケートから苗木の必要数は 8 万本。
- ・うち 5 万本は、令和 7 年度から県内苗木業者 2 者の協力を得て増産中であり、令和 9 年秋に供給予定。
- ・残り 3 万本は、令和 8 年度から県内苗木業者が着手することで合意。

イ 今冬の雪害復旧に向けた苗木増産

- ・今冬の雪害は、昨冬と同等かそれ以上の被害となっていることから、必要な苗木数は昨冬と同等の 8 万本と想定。
- ・苗木の確保は、県内苗木業者が増産に取り組むこととし、着手年や増産数については今後調整。
- ・なお、苗木の増産数については、今後の需要状況を確認しながら、必要に応じて精査。

ウ 生産者を対象とした苗木生産に係る研修会

- ・新たな取組として、若手生産者等を対象に接ぎ木技術の習得等に向けた研修会を開催し、生産者の苗木づくりを支援。
- ・県内苗木業者と連携し、年 2 回開催。内容は、接ぎ木方法、苗木の肥培管理、種苗法など関連法令等。

（2）苗木の安定供給体制の構築について

苗木生産の効率化に向けて、他県での生産ロスの少ないポット栽培の事例や「J M 1」台木の特性、苗木安定確保対策事業（国）について情報共有。